

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治瓦版**



問合せ●横浜市磯子区中原1-2-31 電話045-750-5755 FAX045-751-0919 ホームページ www.jun.or.jp

私たち「安倍世代」がいま、 政治を変えます!



安倍晋三さんの自民党幹事長就任は、私にとっても衝撃的な出来事でした。その驚きの中で、安倍さんが自民党社会部会長、私が副部会長として厚生関係の政策を論じ合った日々が、鮮烈に思い出されました。

政治が永田町の論理ではなく、「政策」によって進められる、という当たり前の、それでいて劇的な変化が起こっています。

安倍さんと私、そして「安倍世代」の同志たち。私たちが、政治の変革をさらに進めます。安心して暮らせる日本をつくるために。

松本 純

まつもと じゅん プロフィール

昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。製薬会社を経て、(有)松本薬局に入社。現在は代表取締役。本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長として、街づくりや地域活動に取り組む。平成2年、横浜市議中区補欠選で初当選、3期務める。平成8年、衆議院総選挙で神奈川1区当選。専門を生かして年金・医療・介護福祉などに全力投球。平成12年の総選挙で次点落選。現在は自民党神奈川1区支部長として国政復帰奮戦中。

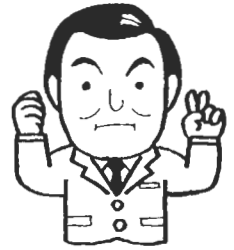


松本純さんと一緒に介護保険創設に汗を流しました。新しい時代の年金改革は、私たちが実行します。安倍晋三



比例代表も自由民主党へ

松本純は「3つの政策」の断行を皆さまに約束します



政治が今、大きく変わろうとしています。

今回の自民党総裁選—役員人事—内閣改造は、これまでの永田町の力学では、日本が陥った閉塞（へいそく）状況から脱出するのは不可能で、もっと大きな国際的な政治経済情勢や歴史の流れの中での改革が必要であることを示しました。

その象徴が、安倍晋三さんの自民党幹事長就任です。北朝鮮による拉致事件で見せた安倍さんの毅然とした態度こそ、国民の皆さまが求めていたものではないでしょうか。

私たちの眼前には、解決しなければならない問題が山積しています。その中から、松本純は、次の「3つの政策」を最優先項目として皆さまにお示しし、その断行をお約束します。

1 暮らしに「安心」をもたらす社会保障制度の改革を推進します

今、私たちの最大の不安は、「将来どうなるのだろうか？」という先行きに対する不透明感です。高齢社会の中で、健康に過ごせるのだろうか？ 年金はだいじょうぶ？ 安心して子育てのできる環境は整っているのだろうか？ そこで松本純は、

- 年金・医療・介護保険制度、福祉の充実を図ります
- 保育所待機児童ゼロ作戦を実現し、子育てを支援します

2 真の経済再生を目指す小泉「構造改革」を強力に推進します

本当の明るさが見えない日本経済の現況から、「構造改革より景気対策を」という意見が多く存在します。しかし、構造改革は、米国ではレーガン大統領が、英国ではサッチャー首相が、“鉄の意志”で断行し、その経済の活性化をもたらしました。そこで松本純は、

- 小泉構造改革を強力に推進します
- その過程で生じる皆さまの「痛み」を和らげるために、中小企業セーフティネット保証・貸付制度の拡充などに全力を尽くします

3 警察官の大幅増員で、「治安回復」を図ります



私たちの安全は、まず自分で自分を守ることから始まりますが、最終的には警察に頼らざるを得ません。ところが、交番におまわりさんがいません。街をパトロールするおまわりさんの姿を見かけません。日本の安全は今、大きな危機にさらされています。そこで松本純は、

- 「5年間で治安の危機的状況を脱する」という自民党治安強化小委員会の緊急提言の実現を図ります

私は改革を推進する「松本純」さんを推薦します
内閣総理大臣・自民党総裁 小泉純一郎 自民党幹事長 安倍晋三

松本純 
www.jun.or.jp